

助成(寄贈)と効果の報告(2019年～2023年)



特定非営利活動法人まぐのりあ

2019年にグループホーム「和家」を開設しました。資金0円から、出発した私たちにとって、様々な資金繰りが当初からの課題でした。役員や住民有志の皆様からの寄付金をもとに土地の購入と造成を行いました。建設費については、三重県や尾鷲市からの補助金と金融機関から借り入れました。グループホームは「暮らし」の場とともに「障がい福祉サービス」の事業所でもあります。そのため、家庭電化製品や送迎のための自動車、複合機などの事務機器が必要となります。各種の助成や寄贈を実施している団体に申請をしました。採択されたことで、ずいぶん充実した設備を揃えることができ、「暮らし」の快適さや業務の効率化につなげることができました。

各種助成団体様からの助成や寄贈については、そのつど「わや便り」に報告させていただきました。また、ホームページの開設に伴い、「お知らせ」として掲載しましたが、開設を機に、これまでに助成や寄贈を受けた団体様と助成(寄贈)の設備とその効果について報告させていただくことで感謝の意を表したいと思います。

2023年11月


1. 公益財団法人 愛恵福祉支援財団 様(東京都北区)

助成(寄贈)を受けた年月日	2019年1月
助成(寄贈)を受けた物品	ケア家具(ダイニングテーブル、椅子)2セット
	<p>グループホーム開設と同時に家具や冷蔵庫等の電気製品が必要となります。入居者自身が利用する家具等は、自分で用意することになりますが、共同利用する家具や電気製品は、法人が設置することになります。</p> <p>愛恵福祉支援財団様からは、ケア家具(ダイニングテーブル・椅子 2セット)の寄贈を受けました。テーブルは、とても丈夫で、車椅子の高さにも合っているので、とても助かっています。</p> <p>食事だけでなく、グループホームでは、会議や来客者の対応、事務作業等にも、ダイニングテーブルを使っているのもとても助かっています。</p>
	

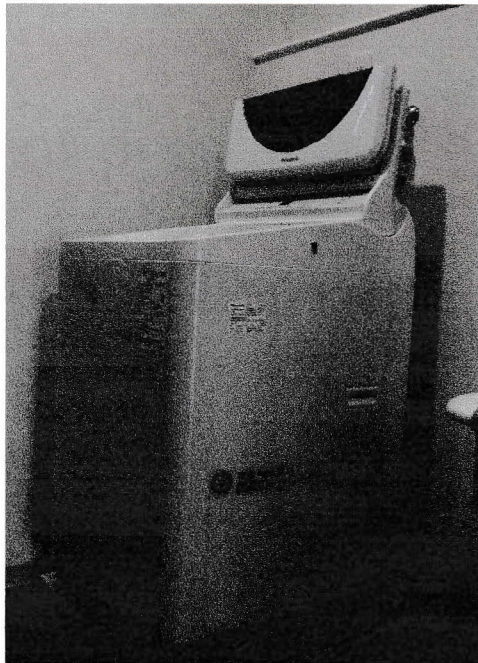
2. 公益社団法人 24時間テレビチャリティ委員会 様 (東京都港区)

助成(寄贈)を受けた年月	2019年2月
助成(寄贈)を受けた物品	スロープ付き福祉車両 (普通乗用車)
 <p>入居者の日中の活動である事業所（生活介護・就労継続支援事業所）への送迎や休日の余暇活動（地域のイベントへの参加、買い物・食事、レクリエーション）、病院・医院への付き添い等では、自動車が必要で、車椅子の利用者が入居している「和家」ではスロープ付きの福祉車両となります。</p>  <p>送迎の問題は、グループホーム設立の検討段階からの課題でした。24時間テレビチャリティ委員会様からは、開設前に寄贈を受けたので、心配することもなく、開設の初日から活動しています。入居者の送迎や余暇活動だけでなく、職員の事業所への訪問・出張等にも利用しています。平日・休日に限らず、年間365日の利用です。</p>	

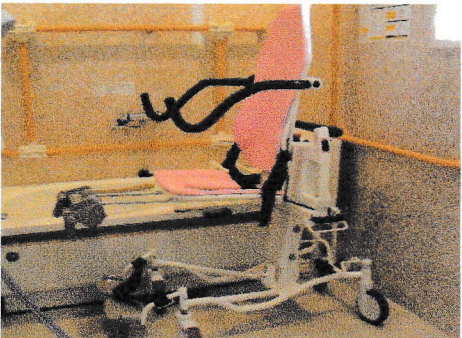

3. 公益財団法人 森村豊明会 様 (東京都港区)

助成(寄贈)を受けた年月日	2019年3月
助成(寄贈)を受けた物品	デジタル複合機
 <p>当法人が運営する「和家」は「障害者総合支援法」による共同生活援助の指定を受けております。そのため、毎月、給付費の請求事務をしなければなりません。また、会計処理や支援記録、各種会議の記録、研修資料の作成などデジタル複合機がなくてはなりません。また、「わや便り」を作成して賛助会員やボランティアの皆さんに配布しており、印刷にも利用しています。</p> <p>毎日の事務仕事や記録の保存、グループホームと地域をつなぐ情報発信としてデジタル複合機が活躍しています。</p> <p>森村豊明会様からは、グループホーム開設と同時に寄贈を受けたので、当初から困ることもなく、毎日、利用させていただいています。</p>	

4. 尾鷲ロータリークラブ 様 (三重県尾鷲市)

助成(寄贈)を受けた年月日	2020年4月
助成(寄贈)を受けた物品	大型洗濯機
 <p>グループホームは生活の場ですから、冷蔵庫や洗濯機・電子レンジなど電気製品を揃えなければなりません。開設時に役員や住民有志の皆様から、家庭で不要となった電気製品をいただきました。洗濯機もそのうちの一つです。</p> <p>少人数のグループホームというものの5人の共同生活となると、洗濯する量も多くなります。家庭用の洗濯機で1日に数回の利用をしていることを知った「尾鷲ロータリークラブ」様から、大型の洗濯機の寄贈を受けました。</p> <p>大型の洗濯機なので、仕事の効率化が進みました。従来の、洗濯機もまだまだ使えるので利用しています。</p>	

5. 社会福祉法人 丸紅基金 様 (東京都中央区)

助成(寄贈)を受けた年月日	2020年12月
助成(寄贈)を受けた物品	入浴介助用リフトキャリアー
  <p>リフトキャリアーは居室から浴室まで座位のまま移動ができ、入浴の準備後は電動により浴槽に移動ができ、一人の介護者の支援で入浴ができます。建設時には設置ができる構造としながらも、財政面から見送らざるをえませんでした。そのため、職員が二人で、入居者の前後を抱きかかえるようにして入浴介助をしていました。浴槽への移譲なので、危険も伴い、安心・安全面からの心配が絶えることなく、快適な入浴とはいえませんでした。</p> <p>設置後は、一人の介護で入浴支援ができ、入居者も羞恥心を感じる事が少なく安心・安全・快適な入浴となりました。一人の職員で可能となったことから、他の一人は食事介助や後片付け、夕食後の団欒の話し相手などの業務に従事できるようになりました。</p>	

6. 公益財団法人 あすなろ福祉財団 様（東京都台東区）

助成(寄贈)を受けた年月日	2022年7月
助成(寄贈)を受けた物品	防災倉庫・防災用品(災害時応急簡易テント、発電機 2基、高圧洗浄ポンプ、LED 仮設照明器具 10基)
   	
<p>三重県尾鷲市は熊野灘に面しており津波や台風による大雨の被害が懸念されております。重度・重複障がい者が生活をする「和家」では、停電時の電動車椅子の電源や照明の確保が課題でした。防災倉庫や防災用品が常備されたことで災害時の生活も安心できるようになりました。被災時には、一般の避難所では難しい在宅の障がい者にも、一時避難所として開放したいと思います。</p>	

7. 社会福祉法人 清水基金 様（東京都中央区）

助成(寄贈)を受けた年月日	2023年6月
助成(寄贈)を受けた物品	スロープ付き軽自動車(福祉車両)
 	
<p>2019年の「和家」の開設に伴いスロープ付き福祉車両(車椅子2名を含む定員5名)を24時間テレビチャリティ委員会様から寄贈をしていただきました。日中事業所への送迎、野外活動と毎日のように活用させていただいております。</p> <p>障がいの重度化とそれに伴う車椅子の大型化などにより、野外活動などの全員(入居者5名、職員3名)で移動することができなくなり、職員の私用車や福祉タクシーを併せて利用してきました。清水基金様の助成により既所有の福祉車両と併せて利用することで、皆で揃って外出できるようになりました。</p> <p>病院・医院等の個別の利用、狭い道路や駐車場への進入も容易となり、入居者が目的地の近くで乗降できるようになりました。職員の出張、他事業所への訪問などにも利用させていただいております。</p>	